

先端イメージング技術を用いた、がん組織の代謝プロファイル技術開発を目指した観察研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、2003年1月1日～2026年12月31日に外科切除術を受けた患者の中で包括的同意の得られている患者さんを対象にします。外科切除にて採取された組織検体および生検検体の残余検体・病理診断報告書を含む診療録等の診療情報および血液検査の残余検体、バイオバンク血液検体を研究に使用します。

2. 研究目的・方法

がん組織の診断は従来から病理形態学的診断をスタンダードとして実施されてきました。最近、表面増強ラマンイメージングや質量分析イメージングなどの最新の技術が開発され、それらを応用することによって、がん組織診断の新しい手段・方法の開発が期待されています。

本研究ではラマンイメージング技術を用いて、がん細胞と非がん細胞の代謝の違いを利用してがん組織を診断する技術開発を目的に、様々な腫瘍組織のイメージング解析を行います。また比較対象として様々な腫瘍・非腫瘍組織を解析します。

研究実施期間：10年間。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療後の手術で摘出した残余組織検体、血液 等

情報：病歴、カルテ番号、年齢、イニシャル、病理検体番号 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究機関との試料・資料・情報提供の際は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。試料の輸送は紛失リスクを最小化するために、輸送時に随時追跡可能であり、受け取り側の授受の確認が可能である、輸送方法を選択する。情報は電子的配信等をとることがある。

データの解析結果を論文としてしかるべき医学雑誌での公表、学会発表を実施します。

5. 研究組織

国立がん研究センター 平岡伸介

慶應義塾大学医学部 加部泰明

富士フィルム株式会社 佐藤真隆

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 平岡伸介（研究責任者）

〒104-0045 中央区築地 5-1-1

TEL 03-3542-2511/ FAX 03-3248-2463

研究代表者

国立がん研究センター中央病院 平岡伸介